



松徳新聞

2025年 1月号

発行所：松徳新聞編集室 〒580-0032 松原市天美東7丁目13-26

HEAD LINE

- P.2 新年のご挨拶
- P.4 看護部長着任のご挨拶/退職医師のご挨拶
- P.5 松原徳洲苑だより
- P.6 今月の作品/
松原徳洲会訪問看護ステーションのご案内
- P.7 これなう! / 各部署の紹介 / 今月のレシピ
- P.8 公開医療講座&オンライン医療講座



謹賀新年



旧年中は大変お世話になりました
本年もよろしくお願い申し上げます

令和7年1月

新年のご挨拶



院長
吉田 毅



新年あけましておめでとうございます。

いつも皆様には大変お世話になり、感謝申し上げます。

さて、当院は昨年、松原中央病院と合併、60床増床し許可病床249床となりました。一般急性期237床、ICU12床です。救急車受け入れ、約7000件ですが、当院に入院できず、他院へ入院していただく場合もありました。しかし今回の増床により当院で治療ができる体制も整いつつあります。救急医療だけでなく、大阪府のがん拠点病院として、また心臓・大動脈センターをかかえる循環器疾患の拠点として、より多くの疾患を地域で治療できるよう診療科の充実も図って参ります。

また、同じ松原市の阪南医療福祉センター阪南中央病院も徳洲会グループの病院となりました。お互いの病院の特性を生かし、地域医療により貢献できるよう、より一層連携を深めていきます。

医療、介護、社会福祉と地域のインフラとして、地域の皆様に安心をお届けし、信頼される存在であり続けるため職員一同全力を尽くして参ります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長
外科部長

森田 剛史

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

思い起こせば、昨年は元旦早々に能登半島地震が発生し、翌2日には羽田空港で日本航空機と海上保安庁機が衝突し、センセーショナルな年明けでした。被害に遭われた方々の胸中を察すると、平静の有り難さをおぼえずには居られませんでした。災害医療チームの活動や、とりわけ日本航空機炎上時の乗務員の迅速な避難誘導は、医療従事者目線でも称賛に値するものだと思います。普段の危機管理意識や訓練の賜でしょう。

ICTやAI（情報技術や人工知能）が日々進歩し、医療分野でも生成AIによる診断能力や手術支援ロボットの操作で、一部とは言え熟練医師の力量を超えてきています。徳洲会病院も東京本部の生成AIドクターが数十万人の患者の診断や治療、執刀する日が来るかも知れませんね。30年近く医療に携わっている私は、電源を入れて生成AIドクター動画を合わせてロパクしているだけでいいかも。（つていうか、ロパク要らんでしょう）

アルゴリズム、プロトコル、コスト。パフォーマンス等は重要ですが、もっともAIに凌駕されやすいとも言えます。病気の怪我とは闘いつつも、悩みや迷い、発展や創造、幸福や希望など、人間的なものも大切にしたいですね。

皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

副院長
循環器内科部長

川尻 健司

皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。

新しい年を迎え、心機一転、職員一同さらなる医療サービスの向上を目指してまいります。

昨年は、大谷翔平選手の活躍が日本中を熱狂させました。スポーツを通じて、人々に勇気と感動を与えてくれたことは素晴らしいことです。私たちも、大谷選手のように高い目標を持ち、患者様のために全力を尽くしていきたいと考えています。

さて、2025年は、大阪万博の開催が予定されています。この大きなイベントを控え、地域医療機関として、万博に関わる方々をはじめ、多くの人々が安心して過ごせるよう、万全の体制を整えていく所存です。

本年も、皆様の健康と幸せを心より願い、より一層の信頼をいただけるよう、職員一同精進してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

副院長
脳神経外科部長

大山 憲治

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

2024年度実施された医師の働き方改革、国の診療報酬改定、医療制度改革によって南河内二次医療圏病院群の集約化が加速しています。当院は徳洲会グループ元祖の病院として、救急を断らないという徳洲会の基本理念を全うすべく職員一同頑張っておりますが、昨年の一般病棟の増床、救急件数の増加、多様な搬送事例の増加、平均在院日数短縮の義務化、などが重なり、職員採用が追いつかず現場職員の疲弊度は増すばかりです。

本年は、当地域の中核病院として存続し続ける事ができるかどうかの正念場の年です。病診連携、病病連携をさらに大切に、患者さんへは質の高い医療を提供全く、徳洲会グループからの応援を期待しながら、働く職員が忙しくても自慢できる病院をめざして皆で頑張ります。

副院長
木野 博文

新年あけましておめでとうございます。私は昨年4月1日より松原中央クリニックから当院に転勤いたしました。本年は月並みな挨拶より当院にきて感じたことを書かせていただきます。

当院は河内天美駅から歩いて数分の大変便利な場所にあります。ベッド数が60床の病院に勤務していたので、249床の当院での勤務は最初の間は戸惑いましたが、多くのスタッフの皆様が指導していただきようやく慣れてきたこの頃です。毎日多くの患者様が救急搬送されて入院し治療を受けて退院していくということは、それだけ地域の皆様に貢献しているのだと誇りに思える病院です。

また、スタッフへの教育が行き届いており患者様やご家族の方々に丁寧で優しい言葉遣いで対応しているのを見かけると、わたくし自身も、もう少し頑張れと励まされているように感じます。

当院は臨床研修指定病院です。で、医者になりたての研修医が勤務しています。私の夢は、これまでの経験を研修医に伝えて、早く一人前の医者になって地域医療に貢献してもらうことです。

松原徳洲会病院がより良い病院になるように努力いたしますので、本年もよろしくお願い申し上げます。



外科顧問
古河 洋

2025年 あけましておめでとう
ございます。

昨年は世界で戦争がおさまらず、さらに身近にまで大きな臭い気配がしてきました。もうこれ以上危険な状況は作らないでほしいと願うばかりです。

松原徳洲会病院は病床数が増えて一層地域の皆様に上質の医療を提供できるようになりました。がん医療におきましては、肺癌を専門とする呼吸器外科外来を開設しました。また今年には「がんの薬剤治療を専門とする、腫瘍内科を開設」致します。松原市では多くのがん患者様が大阪市はじめ松原市以外の病院にかかつておられる現状があり、これを改善したい一念からです。国や大阪府が勧めるように地域において一貫した治療・療養ができることを目指しています。そのためには、大阪公立大学や近畿大学など大学との連携も欠かせません。また、この度大阪府はがん患者様に寄り添う「がんピアサポーター」の養成事業を始めました。松原徳洲会病院では「緩和ケア医療チーム」があり、「ピアサポーター」のいるがん相談支援センター」などすべての職種のチームで患者様に寄り添い、治療を受けていただくことができます。

今年もさらに安全で上質な医療を提供できるよう努力してまいります。



参与
浦山 聡

皆様、新年明けましておめでとうございます。今回の年末年始は暦が良く長期の休暇を謳歌された方々もいらっしゃるだろうと推測申し上げます。それに引き換え、何を好んでか(医)徳洲会では年中無休・24時間オーブン经营理念で謳い病院幹部を筆頭にそれを率先垂範させていただいております。だが、それが楽しくないかと言うと多分、旅行へ行く、食事をする、映画を見るときという行為とは比べ物にならないほど職員個々にとっては、この己の信念に沿った行為は楽しいのであります。職業というよりは社会貢献にまで昇華された行為に思え、自身は自身しかやれないことを成しているのだと思え、やりがいというやつの顔が見えだしたりするという誠に不思議な気持ちであります。

新年を迎え、新しい時間を有していることの幸福を抱き、この時間を共有していることに感謝し、この巳年を駆け抜け、駆け抜けた先で想定した目標を達成していることを信じて職員全員で本年も日々精進したいと考えます。

お陰様で松原病院は昨年増床が適い249床のベッドで運営しています。よりたくさんの患者様に入院加療を成していただけの環境を提供できるようになっています。本年も変わらず松原病院をご利用くださいませ。医療に正直な職員がご対応させていただきます。

本年も皆様が健康でありますように、幸多き一年でありますように、どうぞよろしくお願い申し上げます。



事務長
藤田 元幸

新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆様のご協力・ご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございました。

今季は松原中央病院より移管した60床を6階フロアにて稼働させ、今までは以上にご入院が必要な患者様の受入を実施してまいりました。今後も原点である救急医療を中心に、理念に基づいた活動を進めて参ります。

昨年は50周年の節目を迎え、本年は徳田名誉理事長のご逝去があり、松原徳洲会病院としては様々な面で節目のタイミングを迎えているように感じます。また、近隣の阪南中央病院様も同法人に参画いただきました。今後は両病院が今まで以上に協力し、更なる地域医療の貢献に寄与できるよう、職員一同力を合わせて精進して参ります。本年も皆様のご理解・ご支援賜りますよう、宜しく申し上げます。



松原徳洲会
施設長
成原 英彦

新年、明けましておめでとうございます。今年も、どうかよろしくお願い申し上げます。

早いもので、小生がここに赴任致しましてから、9ヶ月が経ちました。今までほとんど病院畑を歩いて参りましたが小生ですの、いろいろな慣れない事もございましたが、パラメディカルの方や事務員さん方、また病院の先生方にもご助力頂き、何とかここまで、大過なくやって来れました。この場をお借り致しまして、皆様に感謝の意を表させていただきますとともに、今後とも従来と変わらないご支援を、どうかよろしくお願い申し上げます。

ご存じの通り老健の使命は、一義的には入所者さんにリハビリを行い、在宅に戻す事です。そのために一層努力致しますとともに、入所者さんの健康管理や、看取り等の業務も、抜かりなく行いたく存じます。また、経営の安定なくして我々の生活はございませんので、入所ベッドの稼働率の向上に、引き続き努力致します。

皆様のご多幸と、皆様の事業所のますますのご清栄を祈りつつ、ペンを描かせて頂きます。



松原徳洲苑
事務次長

保田 宜史

明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆様の日頃のご協力とご理解そして
ご支援をいただき、令和5年10月1日、
現在地に新築移転しました介護老人
保健施設 松原徳洲苑は、早1年と3
ヶ月の月日が経ちました。この間試行錯
誤しながらではありますが、安定したサ
ービスの提供をさせてもらえるよう努力
してまいりました。

今年の千支は「巳」、十千十二支では
「乙巳（きのとみ）」の年となります。
「乙」は発展途上の状態を表し、「巳」は
植物が最大限まで成長した状態を意
味するとのことで、成長と結実の時期と
なる可能性が高い年と言われているそ
うです。ただ、全ての人が同じ速さで結
果を得られるわけではなく、成長の速
度は人それぞれであるとのことでした。

松原徳洲苑も年始からいつもと変わ
らぬ利用者様のお手伝いをいたしてお
ります。今年も変わらず皆様に慕われる
施設を目指し、地域にはなくてはなら
ない施設として大きく成長できるよう
努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し
上げます。

皆様にとってご多幸な年になります
よう心からお祈り申し上げます。

看護部長着任のご挨拶



エゴ
看護部長 江籠 カエコ

新年あけましておめでとうございます。

このたび、看護部長を拝命しました江籠（エゴ）と申します。

長い歴史と伝統もつこの松原徳洲会病院で、皆様と一緒にこれからの
道を進めることを大変光栄に思っております。当院は、長い歴史の中で培
われた文化や慣習が息づいており、それが患者さまやご家族に信頼され
る医療、看護を提供する土台となっています。この伝統をしっかりと守り
ながら、次の世代へと繋いでいきたいと考えています。一方で、医療を取り
巻く環境は変わり続けています。多様化する社会の期待に対応できるよう、患者さま、働く皆さんの声
に耳を傾け、より安心していただける、看護の実現にむけて一歩ずつ挑戦してまいります。

また患者さんや地域から選ばれる病院であることはもちろんですが、職員にも選んでもらえるような
看護部でありたいと思います。職員一人ひとりが、生活や仕事の調和をとりながらも、生き生きと働け、
キャリア実現できるようサポートしてまいります。

患者さんの安心と信頼を第一に、職員みんなが楽しく働けますよう共にがんばりましょう。皆様のご
指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

退職医師のご挨拶



泌尿器科 高倉 一平

泌尿器科の高倉です。1年間お世話になりました。来年から淡路島の中林
病院という病院に赴任となりました。この1年間はスタッフの皆様の厚いご協力
のおかげで非常に働きやすく退職するのが残念です。松原徳洲会病院にまた
戻れることがあれば何卒よろしくお願いいたします。

松原徳洲苑だより

リハビリ トレーニングマシン



今回の徳洲苑だよりでは、通所リハビリテーションで活躍しているトレーニングマシンを一部紹介したいと思います。

写真を載せているので、一度ご覧いただきたいのですが、最近流行りのチヨコップなどにあるものと比べてどうでしょうか。その違いにお気づきの方もいると思います。

これらのマシンには一般的な鋳鉄製の重し、ウェイトがありません。ではどうやって負荷をかけるのかというと、これらの機材はすべて二つのコンプレッサ

ーと繋がっていて空気の圧力を利用して負荷をかける空圧式筋力トレーニングマシンなのです。これらのマシンは「HUR（フー）」と呼ばれており、同名で略されるヘルシンキ工科大学で行われた研究プロジェクトの結果製造されているものです。製造コストが高く、配管や設置場所が複雑化するなどのデメリットがありますが、空気を調整するだけでトレーニング強度を簡単に変えることができます。

これによりほぼゼロに近い負荷から通常のウェイトでは実現できない細かな調整が可能で、負荷が急激に変わることがなく、関節や筋肉への負担を最小限に抑えて筋力強化ができる設計になっているリハビリに特化したトレーニングマシンなのです。



車椅子での利用も想定されている設計



背筋と肩周辺を同時に鍛えるマシン



内ももの筋肉、内転筋を鍛えるマシン



腹筋を鍛えるマシン



大胸筋を鍛えるマシン





こどもたちが大好きな絵本
「だるまさんが…」を福笑いにしました。

今月のテーマは

「だるまさんが…」



にじいろ保育園
今月の作品



松原徳洲会訪問看護ステーションのご案内

住み慣れた自宅で過ごせるよう 一生懸命、心を込めてケアします

ステーションの特徴

- 24時間、365日安心を届けます
- 土・日・祝日も対応させていただきます
- 明るくて元気なスタッフがそろっています

対応可能エリアは
車で30分圏内ですが、
依頼あれば、どこまででも
行かせてもらいます。



モットーは

「頼まれた依頼はことわらない」で頑張っています! (^ ^)!

訪問看護では

- ・ がん末期、終末期のケア
- ・ 健康状態や病状の観察、
- ・ 服薬管理
- ・ 医療処置や管理(点滴、カテーテル類、在宅酸素、ストーマなど)
- ・ 療養上の支援(オムツ交換、清拭、入浴介助、足浴など)
- ・ ご家族の支援 など

経験豊かなスタッフが訪問します。

スタッフ紹介



ご要望に合わせて、
迅速に対応させていただきます!!

ご連絡は **TEL 072-334-3931** までお願いします



韓国ソウルにて

上がつてしまいます。なので、家にはハンダグがいくつかあります。(ライブに行った時のスローガンやお酒のびんやら)
これからのどつぷりはまりながら楽しんでいきたいと思っています。



佐藤選手とツーショット



甲子園球場にて



松原徳洲苑 通所リハビリテーション

為野 知香

私が今はまっているものは2つあります。1つは阪神タイガース。子どもの頃に親に甲子園へ連れて行ってもらい初めてスタンドからグラウンドを見たあの感動は今も忘れられません。あれから40年…(もうそんな歳になつてしまった。)今は子どもたちも成人したので自分の時間に余裕もでき、23年24年は特にどつぷりはまりながら応援しまくりました。阪神の勝敗で一喜一憂してしまい、家の雰囲気もそこで左右される毎日。子どもたちごめんさい。来年もパレードに行けるようビール片手にめいっぱい応援したいと思っています。



はまっているもの



腎センター スタッフ

腎センターは、午前と午後で透析を実施し、火・木・土は午前中に人工透析を行っています。現在、治療方法としては、透析療法および間歇補充型血液透析濾過と吸着型血液浄化(レオカーナ)といった様々な治療方法を採用しています。

透析導入から外来維持透析にも対応しています。救急医療を目的に来院された(緊急手術を要する・入院加療が必要など)他院の透析患者さんの人工透析も対応しています。透析患者さん感染隔離個室では、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症にも対応し感染症対策にも努めています。医師による診察および治療選択(様々な診療科の医師との連携)・看護師による生活指導・臨床工学技士による透析条件の考慮・検査技師によるエコー検査・栄養士による栄養指導・ソーシャルワーカーによる福祉相談他職種との連携や協働しています。

他科との連携により対象疾患であればその都度対応させて頂き、患者様の個性を大切にしています。



腎センター 看護師

長尾 剛志

松原徳洲会病院、腎センターは33床・感染隔離個室1床の計34床で対応しています。月・水・金曜日

各部署の紹介
腎センター

今月のレシピ

豚汁

監修：栄養科

【材料】(3人分)

- ・豚バラスライス 150g
- ・大根 100g
- ・人参 50g
- ・ごぼう 40g
- ・こんにゃく 50g
- ・長ネギ 適量
- ・ごま油 小さじ1
- ・だし 600cc
- ・味噌 大さじ3



調理工程

- ① 大根、人参の皮をむく。大根をいちょう切り、人参を半月切りにする。ごぼうを斜め切りの薄切りにして水で洗い水気を切る。
- ② 長ねぎを小口切りにする。
- ③ 豚肉は3cmの長さに切ってほぐしておく。
- ④ ①を水から下茹でして水気を切る。
- ⑤ フライパンにごま油を入れ中火で④を加え焼けたら③を加え油がなじむまで炒め合わせる。
- ⑥ 出汁を加え一煮立ちさせアクを取り弱火にしてごぼうがやわらかくなるまで10分ほど煮る。水が減ったら水を足す。
- ⑦ 味噌を入れざっと煮たら器に盛り付け②を散らす。

ご意見、ご感想は
松徳新聞編集局まで

TEL: 072-334-3400

FAX: 072-332-3512

Eメール: info-matsubara@tokushukai.jp

Facebook

Instagram



ご登録お願いします!

松徳新聞 2025年1月号

●編集責任者: 阪口 昇二

●編集委員: 渡邊 成喜

ホームページ



金田 玲音
武田 真澄
諏訪 翔大
武島 誠
杉山 義宜

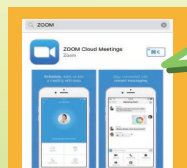
公開医療講演 & ZOOM

2025年

1月



オンライン医療講演



※画像は、スマートフォン版です。

オンライン医療講演は
Web会議ツール「Zoom」ソフトを
使用いたします。
みなさまには事前に「Zoom」の
ダウンロードをお願いいたします。

iPhone・iPad



講演中は、
ホームページから
オンラインで自由
に参加出来ます。



会場とZOOMオンライン講演 入場無料

●1月8日(水) 14:30～

会場とZOOM

会場:羽曳野市立生活文化情報センターLICはびきの 2F パソコン教室

ドライマウス・口腔乾燥症・唾液の話

講師/歯科口腔外科部長 竹内 憲民

●1月16日(木) 14:30～

会場とZOOM

会場:羽曳野市立生活文化情報センターLICはびきの 3F 視聴覚室

あなたの血管は大丈夫?

～動脈硬化による病気とその予防～

講師/大動脈ステントグラフト血管内治療科部長 阪口 昇二

●1月17日(金) 14:30～

会場とZOOM

会場:藤井寺市立市民総合会館(パープルホール) 4F 中会議室A

膝の痛みでお困りの方へ

～膝痛に対する根拠のある治療とは～

講師/整形外科医長 大場 満成

●1月20日(月) 14:30～

会場とZOOM

会場:羽曳野市民会館 4F 研修室

新しい癌の治療法

講師/外科顧問 古河 洋

●1月24日(金) 14:30～

会場とZOOM

会場:羽曳野市立生活文化情報センターLICはびきの 2F パソコン教室

今年も1年元気に乗り切ろう!

講師/心臓血管外科部長 院長 吉田 毅

◎健康相談会 15:00～ (※お1人様当たり時間制限あり)

●1月27日(月) 14:30～

会場とZOOM

会場:介護老人保健施設 松原徳洲苑 5F ホール

松原徳洲苑で行うリハビリ・脳トレ

講師/松原徳洲苑 理学療法士 福本 ほのか/島田 景子

●1月29日(水) 14:30～

会場とZOOM

会場:藤井寺市立市民総合会館(パープルホール) 4F 中会議室A

肩の痛みの自己管理

講師/整形外科部長 仁丹 克則

会場では感染予防のため
マスク着用と手指消毒を
お願いいたします。



※事情により、イベント内容が変更または中止となる場合がございます。

ZOOMオンライン講演

●1月18日(土)【糖尿病教室】

ZOOMのみ

①どんな薬があるの? 解りやすい薬の話

14:00～

講師/薬剤師

②やってみよう! 運動療法

15:00～

講師/理学療法士

●1月23日(木) 14:30～

ZOOMのみ

CTで見る怖い病気

～知らずに撮れるか! CT検査～

講師/放射線科 田中 翔真

●1月25日(土)【糖尿病教室】

ZOOMのみ

①誰でも解る食事療法

14:00～

講師/管理栄養士

②検査を理解して、合併症を未然に防ごう!

15:00～

講師/臨床検査技師

●1月30日(木) 14:30～

ZOOMのみ

このままでは危険!! あなたの腎臓は元気ですか?

～腎臓病と透析のお話～

講師/臨床工学技士 石村 仁志

松原徳洲会病院 地域医療連携室 TEL:072-334-3400

松原徳洲会病院 検索